



2020年10月号 pdp事務局

初めまして：



(実物は、こんな知的なイメージではありません。)

前略。9月29日発信「専務理事 越智豊のちょっと一言」で過分なご紹介とプレッシャーを頂いたpdp理事三明です。GPPJ(pdp)設立以来、事務局から電子回覧板が発信されていましたが、2018年3月に全ての情報はウェブサイト統合しようという趣旨で終了されました。確かにコース案内を含め、詳しい情報はウェブサイトを読んで頂けるのですが、忙しい日々の中でPCの前に座ってウェブサイトをチェックする時間が取れない方もいらっしゃるだろうという思いから、回覧板を復活させる事になりました。回覧版にもご質問、ご意見、ご提案など、どしどしお寄せください。

(備考：<https://gppj.net> 会員専用ページ閲覧にはPWが必要です。すでにお知らせ済みですが、再度確認されたい方は事務局までご連絡ください。

lanc@minuet.plala.or.jp)



～今月のお知らせ～

* 理事会について：

9月20日第3回pdp理事会が行われました。参加者12名、理事8名は愛歯科湯河原診療所に集まり、残り4名はリモートで参加しました。今後は理事会に限らず、

様々な会合や研修会も、集合＋リモートのハイブリッド方式で行われる事が多くなると予測されます。いずれ議事録がウェブサイトの会員専用ページに投稿される予定ですので、詳しい討議内容については割愛させていただきます。

1) 来年度の財務予測：コロナ感染の状況次第で厳しい経営状態が続く事は予想されますが、決して組織の存続が危ぶまれるような状況ではありません。

2) 今後のコース開催について：

世間では今秋から F2F（対面の）コースやセミナーがぼつぼつ再開されています。

p d p の研修コースは一体いつから再開すべきなのか、担当理事の間で様々な議論が尽くされました。ハンズオンの実習については、歯科医院のように徹底した感染予防対策を実施できる環境でない限り、開催は時期尚早であると結論されました。但し、コースの講義の部分は、オンラインや動画で提供できる事も認識しています。すでにご案内済みですが、年内に初の予防矯正のオンライン・コースが開催されます。これに続いて、他のコースについても、“コロナ感染収束までの措置”というスタンスを超えて、どのような内容はオンラインで対応可能であり、どのような部分は対面で行う必要があるのかを明らかにした上で、取り組んでいこうとしています。オンライン・コースについて、皆様からのご要望、ご意見を歓迎いたします。

***コミュニケーション・ツール Slack の利用について：**

今年5月31日発信のp d p 電子ニュースレター第1号にてご紹介したように、理事会が計画した様々なプロジェクトや活動を円滑に遂行するために、私たち理事は Slack を用いて、ほぼ毎日意見・情報交換をしています。（テーマ毎に設定された PC 版グループ・ラインのようなものですね。）各理事がどういう事に取り組んでいて、何を悩んでいるのか、会員の皆さんとも共有したいし、もっと「見える化」を図りたいと願って、今後 Slack のほとんどのチャンネルは希望者が閲覧・参加できるようにしていく予定です。現在のチャンネル数は、合計23個。例を挙げると、members_salon, Youtube, クリニックでのコロナ対策、コース・オンライン配信、MCTC や Ortho を含む各種コース毎のチャンネル等々です。

担当理事、前村先生より；



(実物はずっと渋みがあったイケメンです。)

「まずは Slack のデフォルト設定で members_salon に参加して頂き、慣れて頂けたら、他のチャンネルにもお誘いしたいと思います。参加ご希望の方は私にメールを～!!!」 (Dr 前村 : queridomanabudc@gmail.com)



(近所を散歩中に撮影しました。左：グレビレア、右：曼殊沙華)

では、皆様、ご安全にお過ごしください。 三明